

いわゆる「伝統的な運動療法技術」には欠陥や不足が存在している．．．
このままでは治療としての理学療法が医学のなかに存在することさえ危ぶま

この法則を無視して関節運動を行うと関節自体に障害をきたす。

「運動はすればするほど効果的である」という誤ったスローガンがある。

運動をしていればどちらかがよくなるだろうという治療的運動技術の使用は
医学には存在しない。

筋力は．．．運動によって強くはならない。

わが国のPT・OT養成施設で教育している運動学は
あまりにもこの筋運動力学に偏りすぎている。

その後1970年代当初SternやQuinlanら専門医はかつて、
わが国でも最近になって．．．生理学的アプローチの
否定的見方が発表されている。

このように伝統的な治療的運動には問題点が多く、
現在ではほとんどの技術がそのまゝの形で使えない
状況である。

SJFを治療的運動技術に反り入れ込むことで
「痛みの原因治療」が不可能となる。

SJFは、理学療法の問題点を
多くを解決できる治療技術となっている。

日程・会場

平成27年10月25日(日)10:00～15:00

講演会「PT・OTにおけるSJFの意義」 定員500名

帝京平成大学池袋キャンパス 沖永記念ホール

平成27年10月24日(土)9:00～16:00

技術研修会 定員100名

帝京平成大学池袋キャンパス10階 運動療法室

講師：宇都宮初夫先生 (SJF学会理事長 JM研究所)

費用：講演会のみ 5000円 講演会+技術研修会 13000円

学生（講演会のみ） 1000円

※技術研修会のための申込みおよび学生の技術研修会参加は
お断りしております。

申込み：SJF学会関東支部WEBサイト内のフォームよりお申し込みください
10月3日締め切りですが定員を満した時点で受付終了になります

URL：http://www.sjfkanto.org/kanto/

E-Mail：jimukyoku@sjfkanto.org



SJF学会関東支部

公式Facebook



書籍購入はこちらから
(amazon.co.jpにリンクします)



※人物の顔にある赤点を1分間見つめてから天井を見上げてください。何かが見えます。